

# 「社会的課題と

## 学術統合による

### 研究と教育」

社会経済の複雑化や新技術の進展により、将来の不確実性が増大しています。このため、社会的課題は単独の学問では解決できず、学際的なアプローチが求められています。国際学術会議も、科学と政策や実践を結びつける学際的な科学の重要性を10年以上にわたり強調しています。この学際的なアプローチは、大学の教育や研究にも影響を与えており、より実行可能な知識と解決策を生み出すことが期待されています。本学術講演会は、こうした背景の中で大学の教育と研究の在り方を探求します。

参加費  
無料

令和6年11月30日(土) 13:30 ~ 17:10  
どなたでもご参加いただけます

場所

高知工科大学永国寺キャンパスA213教室

(高知県高知市永国寺町2番22号)(対面・オンラインによるハイブリッド開催)  
※会場には駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場もしくは公共交通機関をご利用ください。



会場定員

100名 参加希望の方は11月22日(金)までに下記URLまたはQRコードより、事前  
申し込みをお願いいたします。 <https://forms.office.com/r/W6dUHV571e>

#### プログラム

13:30 ~ 13:45	(1) 開会挨拶 三枝 信子  (日本学術会議副会長、日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域領域長) (高知工科大学長)	15:20 ~ 15:30	休憩
13:45 ~ 13:50	(2) 趣旨説明 那須 清吾  (日本学術会議連携会員、中国・四国地区会議運営協議会委員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)	15:30 ~ 16:00	「Advanced Technology と看護」 大坂 京子 (高知大学医学部看護学科長・教育研究部医療学系看護学部門教授)
13:50 ~ 14:20	(3) 講演 「多様化する社会的課題に資する高等教育機関へ向けて」 岩田 誠 (日本学術会議連携会員、高知工科大学副学長・情報学群教授)	16:00 ~ 16:30	「学術統合による課題構造化とDXシステム研究」 那須 清吾 (日本学術会議連携会員、中国・四国地区会議運営協議会委員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)
14:20 ~ 14:50	「知識創造と社会デザイン：大学院リーグが目指す変革とは」 永井由佳里 (日本学術会議第三部会員、北陸先端科技大学技術大学理事・副学長、高知大学客員教授・非常勤講師)	16:30 ~ 17:00	「高知から世界へ！ヘルスケアイノベーションの挑戦」 菅沼 成文 (高知大学副学長・教育研究部医療学系長・MEDIセンター長・連携医学部門教授)
14:50 ~ 15:20	「理論と実践の隙間を埋めるPBL教育の試み」 土屋 哲 (日本学術会議連携会員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)	17:00 ~ 17:10	(4)閉会挨拶 薮田ひかる (日本学術会議第三部会員、中国・四国地区会議代表幹事、広島大学大学院先進理工系科学研究科教授)